



県内 SSH 指定校合同生徒発表会

～未来デザインイノベーションフェア(FDIF)～

12月19日(日)、SSH指定の県内3校主催の合同生徒研究発表会を開催し、本校からは、理科部より5グループ、2年数理探究科より2グループ、計13名の生徒が参加しました。

この合同発表会は、県内の高校生に発表の機会を広く提供し、生徒相互の交流を深めるとともに、科学技術に対する興味関心を高め、長崎県に生徒課題探究の文化を根付かせることを目的に開催したものです。SSH指定校3校に加え、WWL指定校である長崎東高校からの17グループ、計46名の生徒が参加しました。また、指導助言者として、長崎総合科学大学より大山 健 様、長崎大学より兵頭 健生 様をお招きし、研究についてのアドバイスを頂きました。また県教育庁高校教育課からは三好 啓介 様が参観され、運営面を中心にご助言を頂きました。

当日は、3つの会場に分かれ、スライド発表やポスター発表を行いました。どの発表も高校生ならではの視点での研究発表がなされており、改めて生徒達が持つ発想の豊かさに気づかされました。また、生徒同士の質疑応答も活発に行われ、それぞれが今後の研究に大きなヒントを得たようでした。特に、高校生・高専生科学技術チャレンジで文部科学大臣賞(最優秀賞)を受賞した長崎西高校の生徒さんの発表は、現象への気づき、検証方法の考案、実験装置の自作など、高校生の課題研究の手本となる素晴らしいものでした。このような素晴らしい研究発表をじかに見たことは、参加した生徒諸君にとって何ものにもかえがたい財産になったはずです。今回学んだことを、多くの友人に伝えて欲しいと思います。

